

協働のまちづくり協議会（第5回）会議録

- 《日 時》 令和元年10月4日（金）9時30分～11時45分
《場 所》 松戸市役所 新館5階 市民サロン
《出席者》 犬塚 裕雅 会長、杉浦 利彦 副会長、坂野 善隆 委員、
牧野 昌子 委員、長江 曜子 委員、小川 早苗 委員、
秋山 和敏 委員、佐藤 秀樹 委員、門 良英 委員
《傍聴者》 0名

1 開会

2 委嘱状交付

3 副市長挨拶

4 委員自己紹介

5 議題

(1) 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に犬塚委員、副会長に杉浦委員が選出された。

(2) 令和元年度スケジュール

- ・事務局から、令和元年度第1回から第4回までの協議会をふり返り、今後の予定として、令和2年度実施分協働事業及び市民活動助成事業の審査等を協議会で行うことを説明した。

(3) 令和2年度実施分 協働事業・市民活動助成事業に係るプレゼンテーション及び本審査について

- ・事務局から、プレゼンテーション及び本審査当日のタイムスケジュール、協働事業・市民活動助成事業の審査要領と審査基準について説明をした。
- ・プレゼンテーションに遅刻した団体については、後にずらすなど時間を調整してプレゼンテーションを行ってもらうこととした。
- ・プレゼンテーションを欠席した団体については失格とすることとした。
- ・委員は、プレゼンテーションにおいて、途中参加途中退席がある場合、プレゼンを最初から最後まで聞いた事業のみ、採点に参加していただくこととした。
- ・プレゼンテーション5分、質疑応答7分とすることとした。
- ・申請事業と利害関係のある委員は、協議会に報告するとともに、審査に加わらないこととした。
- ・委員間の率直かつ活発な意見交換を図るため、本審査は非公開で行うこととした。

(4) 第4次松戸市協働推進計画の策定について

- ・第3次協働推進計画の概要、計画の進捗を説明した。
- ・第4次協働推進計画策定の体制、流れを説明した。

《意見》

- ・市が行っている協働の取り組みが、市民に十分に情報提供されていないのではないか。
- ・協働は、協働事業提案制度のように行政と市民1対1で行うものの他にも、多様な主体が絡みあって進めていくものもある。そういった広い意味での協働を、次の計画では捉えていく必要がある。

(5) アンケート調査票（市民、市民活動団体、事業者、職員）への意見について

- ・第4次協働推進計画に係るアンケート調査の概要を説明した。
- ・松戸市の人口の推移など、市の基本的な統計データを説明した。

《意見》

- ・市民アンケートの標本数3,000人の根拠は何なのか。

→後日事務局から回答。

松戸市総合計画のリーディングプランに「協働」が位置づけられており、その整合性を図るため、松戸市総合計画策定に係る市民アンケートの標本数3,000人と同数で実施していることが1つの理由である。

母集団規模が1万人を超える場合、回収サンプルが1,100票で信頼水準が97%となる。

そのため、3,000票配布し、4割回収の1,200サンプルを見込んでいる設計となっている。

- ・アンケートを通して協働のまちづくりを市民にPRできるような工夫（事例を添付したり、情報が掲載されているウェブページを検索できるようにするなど）をしたらよいのではないか。
- ・職員アンケートの回収率の低さは課題である。

(6) その他

6 閉会